

広報 第10地区コミュニティ

第10号

防災訓練

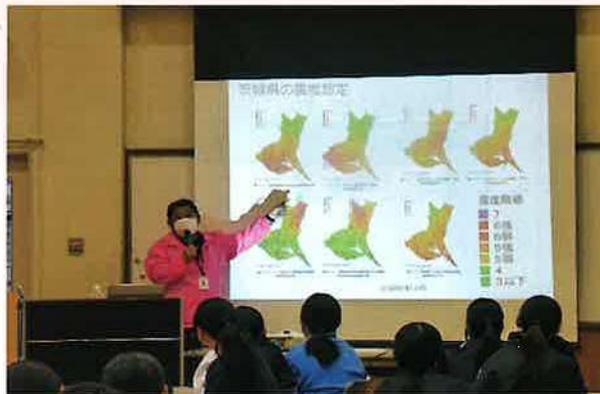
秋も深まった11月22日（土）総和中学校にて、運動部の皆さんに参加して頂き、古河防災ネットワークの指導のもとで、第10地区コミュニティの防災訓練が開かれました。

茨城県も地震が多い地域なので、首都直下地震が起きると、直接死はもちろん大量の関連死が予想されています。

今回の訓練では特に関連死を防ぐために、家庭の備蓄を活用しながら停電を想定した家族の献立を立てました。

最後に工夫の跡が見られる献立表について発表しました。

大規模災害が起きた時、落ちついて行動できるように、日頃から防災について万全の準備が必要ということ学びました。



ワイワイソフトボール大会



12月7日（日）冬晴れの中、第6回10地区コミュニティ主催ワイワイソフトボール大会が開かれました。試合は3試合と女性も子供も参加しての和やかな中で進められ、試合後には温かい豚汁を食べて終了しました。

令和6年度決算報告

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
前年度繰越金	1,139,157円	1,139,157円	0円	
運営助成金	120,000円	120,000円	0円	古河市より
事業助成金	380,000円	88,000円	△ 292,000円	イベント事業 0円 自主防災事業 20,000円 健康づくり事業 38,000円 広報紙発行事業 30,000円
負担金	50,000円	50,000円	0円	10地区負担金
会費	0円	0円	0円	
雑入	5,191円	11,439円	6,248円	広告料
収入合計	1,694,348円	1,408,596円	△ 285,752円	
科目	予算額	決算額	増減額	摘要
会議費	50,000円	3,740円	△ 46,260円	
事業費	630,000円	164,219円	△ 465,781円	イベント事業 0円 自主防災事業 39,101円 健康づくり事業 58,018円 広報紙発行事業 67,100円
事務費	30,000円	5,791円	△ 24,209円	
負担金	30,000円	10,000円	△ 20,000円	
予備費	885,000円	0円	△ 885,000円	
支出合計	1,625,000円	183,750円	△ 1,441,250円	

※収入合計 1,408,596円－支出合計 183,750円＝残金 1,224,846円（令和7年度へ繰越）

令和7年度予算

科目	本年度予算	前年度予算	増減額	摘要
前年度繰越金	1,224,846円	1,139,157円	85,689円	
運営助成金	120,000円	120,000円	0円	古河市より
事業助成金	380,000円	380,000円	0円	イベント事業 100,000円 自主防災事業 140,000円 健康づくり事業 80,000円 広報紙発行事業 60,000円
負担金	50,000円	50,000円	0円	
会費	0円	0円	0円	
雑入	5,154円	5,843円	△ 689円	
収入合計	1,780,000円	1,695,000円	85,000円	
科目	本年度予算	前年度予算	増減額	摘要
会議費	50,000円	50,000円	0円	
事業費	630,000円	630,000円	0円	イベント事業 150,000円 自主防災事業 210,000円 健康づくり事業 120,000円 広報紙発行事業 150,000円
事務費	30,000円	30,000円	0円	
負担金	30,000円	30,000円	0円	
予備費	1,040,000円	955,000円	85,000円	
支出合計	1,780,000円	1,695,000円	85,000円	

令和7年度 第10地区コミュニティ役員

役職	氏名	役職	氏名
会長	印出 久男	防災安全部会長	矢野 靖彦
副会長	古池 貞雄	健康福祉部会長	青木 哲生
会計	宮本 眞佐美	広報部会長	小林 正美
事務局 長	井上 邦次	監事	森田 昭二
事業部 会長	前澤 博英		生沼 輝男

※任期 令和7年4月1日～令和9年3月31日

上辺見行政区「夏祭り」



7月27日（日）例年通り、行政区主催の「夏祭り」が香取神社にて行われました。

神輿・山車・模擬店が参列、子供たちの楽しそうな様子が印象的でした。

古河市行政区自治会「親善バレーボール大会」



8月24日（日）ゴヨーふれあいスポーツセンターにて、男子8チーム、女子4チームが参加。大応援団の声援を受け、女子の部で女沼行政区チームが優勝しました。



女沼スポーツの祭典

暑さ控えめ、まさにスポーツ日和の10月5日（日）総和中学校に於いて、女沼行政区主催の令和7年度女沼スポーツの祭典が賑やかに開催されました。

最初はちびっこ広場で行われていたこの運動会は今年で47回目を迎え、16町内で構成されている地域の良き交流の場となっています。

上辺見老人クラブ秋の研修旅行

11月9日（日）雨模様でしたが、上辺見老人クラブの皆さんが紅葉をさがしに信濃路へ向けて出発しました。

軽井沢を過ぎ佐久平へ到着すると、鮮やかに色づいたカエデ、イチヨウ、ナナカマドなどが迎えてくれました。稲刈りのすんだ田畑もなかなかの風情でした。

2日目は、太陽も顔をだし、待ちに待った研修びより。ぴんころ地蔵尊（長寿地蔵尊）を訪れ、元気で長生きを願って手を合わせました。

近くにたくさんの友がいて、秋をたずねる旅を楽しむとても素敵なことですね。



女沼ささら

11月9日（日）古河市無形民俗文化財である女沼のささら（獅子舞）が、女沼香取神社で奉納されました。

下辺見小学校では、女沼ささら保存会による指導が行われており、集まった皆さんの前で6年生の舞が披露されました。

富岡市視察研修に参加して

令和8年1月14日（水）古河市コミュニティ推進協議会が主催する、群馬県富岡市のコミュニティ活動を視察しました。富岡市は、人口44,500人、世界遺産の富岡製糸場や妙義山などの観光資源がある町です。

富岡市は、地域住民による地域活動の拠点としての役割を担う「地域づくりセンター」を市内11地区に配置しています。

地域づくりセンターが主催する会議の進め方や地域住民の意見やアイデアの集約、地域づくりセンターが実施する事業への協力などの活動を支援するため、市の若手職員を中心に「とみおか暮らし応援隊」を組織し、地域や行政の抱える共通の課題を解決するとともに、市の魅力を発信する取り組みも進めていました。



知りたいな 私たちの住んでいる地域（3）

明治期以前は、各村々に神仏習合で神社と寺院が仲良くあった。「神と仏は一体である」とする宗教思想で神社と寺院は、同じ敷地内にだいたいあった。ところが、「^{はいがつみしゃく}廃仏毀釈」という仏教文化の破壊活動で、僧侶は激しい弾圧を受け、神官に強制的に還俗させられたり、全国の寺院の仏像や文化財は破壊され、多くの寺院が無住となり敗退していった。旧上辺見村でも香取神社の敷地に青谷山龍重院満願寺が有り、現在は神社の南側に太師堂として、僅かに昔を忍ばせる。太師堂には仏像の他、東照大神宮（徳川家康）・^{たいとくいん}台徳院（秀忠）・^{たいゆういん}大猷院（家光）・^{げんゆういん}嚴有院（家綱）の四人の将軍の合同位牌がある。

青谷山龍重院満願寺は、小堤の円満寺の末寺であるので、円満寺の住職に徳川将軍の位牌が円満寺にもあるかお尋ねしたところ、位牌はないという。

青谷山龍重院満願寺は、当時、幕府や徳川家と何らかの関係があったであろうか。

旧女沼村にも宝重院という寺院もあった。旧上辺見村と同じような道をたどって行ったと思われる。ここで特に珍しい神事を紹介する。伝承では埼玉県北川辺町飯積の平井覚亮という人が伝えたという「ささら」は、古くから女沼、関戸、下大野、小堤、釈迦で行われていました。昭和初期の戦争や不景気の混乱のなかで、女沼地区のみが伝統を継承し、四地区は途絶えてしまった。女沼では香取神社に厄除け・五穀豊穡を願って農家の跡取りが「ささら」を奉納した。女沼の「ささら」も一時途絶え、昭和二十二年ごろ伝統文化が消滅してしまうと、毎日夜七時頃から十一時頃まで古老の厳しい指導を受けた若者達は、伝統文化「ささら」を後世に残した。このような古老や若者たちのおかげで、市指定無形民俗文化財として「ささら」は今も続いている。

（古河郷土史研究会会員 亀田輝夫氏 監修）

編集後記

楽しい出来事・記事の情報を募集しています。

第10地区コミュニティ広報誌10号を担当したのは、小林正美（33-2329）、向原勝子、船橋正美、そして新加入した小野里昌子でした。

この部分には、地元協力者の広告が掲載されています。